



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日
上場取引所 東

上場会社名 森永製菓株式会社

コード番号 2201

URL <https://www.morinaga.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 太田 栄二郎

問合せ先責任者(役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長

(氏名) 国近 文子

(TEL) 03-3456-0150

四半期報告書提出予定日 2019年8月13日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	52,430	4.3	6,177	21.8	6,510	20.0	4,455	52.7
2019年3月期第1四半期	50,288	△3.4	5,070	△17.0	5,423	△15.9	2,918	△32.8

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 6,111百万円(582.3%) 2019年3月期第1四半期 895百万円(△81.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	88.58	—
2019年3月期第1四半期	56.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	183,363	99,981	54.1
2019年3月期	175,837	97,193	54.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 99,195百万円 2019年3月期 96,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	66.00	66.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	66.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	107,300	2.5	12,500	9.3	12,900	8.9	9,000	17.2	178.92
通期	207,000	0.8	21,000	3.9	21,400	3.0	14,500	13.1	288.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	54,189,769株	2019年3月期	54,189,769株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	3,888,218株	2019年3月期	3,888,013株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	50,301,685株	2019年3月期1Q	52,005,175株

※期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式(2020年3月期1Q 27,050株、2019年3月期 27,300株)が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は次のとおりであります。

売上高は、主力の食料品製造事業が好調に推移し、全体では524億3千万円と前年同期実績に比べ21億4千2百万円(4.3%)の増収となりました。

損益は、売上高の増収に加え、売上原価率の改善等により、営業利益は前年同期実績に比べ11億7百万円(21.8%)増益の61億7千7百万円、経常利益も前年同期実績に比べ10億8千7百万円(20.0%)増益の65億1千万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期実績に比べ15億3千7百万円(52.7%)増益の44億5千5百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<食料品製造事業>

菓子食品部門

国内主力ブランドでは、ハイカカオ等の商品が好調に推移したことにより「カレ・ド・ショコラ」が前年同期実績を大きく上回りました。「ハイチュウ」は、ブランドにおける包装形態の多様化を行いながら、積極的な売り場展開を進めたことで大きく伸長しました。「森永ビスケット」「ダース」は前年同期実績を下回りましたが、「チョコボール」「森永甘酒」が前年同期実績を上回り、主力ブランド全体では前年同期実績を上回りました。

その他のブランドでは、ブドウ糖を訴求した「森永ラムネ」や、ミネラル・ビタミンを手軽に補給できる「i n タブレット塩分プラス」が好調に推移したことで、国内全体では前年同期実績を上回りました。

海外では、米国は好調に推移し大きく伸長しましたが、台湾、中国が前年同期実績を下回りました。また、インドネシアにおける合弁会社の提携解消にともない、海外全体では前年同期実績を下回りました。

これらの結果、菓子食品部門全体の売上高は283億2千5百万円と前年同期実績に比べ8億1千7百万円(3.0%)増となりました。

冷菓部門

主力ブランドの「ジャンボ」グループは、積極的なプロモーションを展開した効果に加え、「バニラモナカジャンボ」が引き続き好調に推移し、前年同期実績を上回りました。その他のブランドでは、今年発売30周年を迎えた「アイスボックス」や、「ビスケットサンド」が前年同期実績を大きく上回りました。

これらの結果、冷菓部門全体の売上高は112億7千6百万円と前年同期実績に比べ7億2千6百万円(6.9%)増となりました。

健康部門

主力ブランドの「i n ゼリー」は、機能訴求の強化や、新たなニーズに対応した新商品の展開により、前年同期実績を上回りました。「天使の健康」シリーズの通販事業は、「おいしいコラーゲンドリンク」が前年同期実績を上回り、通販事業全体としても前年同期実績を上回りました。

これらの結果、健康部門全体の売上高は108億1千9百万円と前年同期実績に比べ6億4千8百万円(6.4%)増となりました。

[主な商品の前年同期比 (単位：%)]

菓子食品部門		冷蔵部門	
森永ビスケット	99	ジャンボグループ	106
チョコボール	101	健康部門	
ダース	82	i nゼリー	105
ハイチュウ	114		
カレ・ド・ショコラ	127		
森永甘酒	104		
菓子食品主力品計	105		

※表内の数値は国内売上で算出

これらの結果、＜食料品製造事業＞の売上高は504億2千2百万円と前年同期実績に比べ4.5%増となりました。セグメント利益は60億9千8百万円と前年同期実績に比べ11億7千万円の増益となりました。

＜食料卸売事業＞

売上高は、13億7千4百万円と前年同期実績に比べ4.7%減となりました。セグメント利益は7千6百万円と前年同期実績に比べ1千9百万円の減益となりました。

＜不動産及びサービス事業＞

売上高は、4億9千6百万円と前年同期実績に比べ1.3%増となりました。セグメント利益は2億2千2百万円と前年同期実績に比べ2千万円の増益となりました。

＜その他＞

売上高1億3千7百万円、セグメント利益1千1百万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は1,833億6千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ75億2千6百万円増加しております。主な要因は、受取手形及び売掛金や有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定、投資有価証券が増加したことなどによるものであります。

負債の残高は833億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ47億3千7百万円増加しております。主な要因は、支払手形及び買掛金や流動負債のその他に含まれる設備関係未払金が増加したことなどによるものであります。

純資産の残高は999億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億8千8百万円増加しております。主な要因は、その他有価証券評価差額金や利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より0.7ポイント減少し、54.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月14日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,836	37,558
受取手形及び売掛金	24,561	26,603
商品及び製品	10,417	11,169
仕掛品	468	406
原材料及び貯蔵品	6,297	7,400
その他	3,663	3,751
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	85,239	86,884
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,301	17,103
機械装置及び運搬具(純額)	16,243	16,135
土地	24,191	24,189
その他(純額)	2,248	6,192
有形固定資産合計	59,984	63,620
無形固定資産		
のれん	392	368
その他	228	234
無形固定資産合計	621	602
投資その他の資産		
投資有価証券	24,967	27,315
退職給付に係る資産	3,083	3,068
繰延税金資産	1,028	992
その他	989	954
貸倒引当金	△76	△75
投資その他の資産合計	29,993	32,255
固定資産合計	90,598	96,478
資産合計	175,837	183,363

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,117	23,428
短期借入金	666	943
未払金	10,714	10,563
未払法人税等	4,001	1,789
賞与引当金	2,539	1,304
その他	12,363	16,820
流動負債合計	51,402	54,851
固定負債		
長期借入金	10,000	10,000
繰延税金負債	3,911	4,963
役員株式給付引当金	21	26
環境対策引当金	328	325
退職給付に係る負債	8,342	8,512
資産除去債務	117	118
受入敷金保証金	3,733	3,769
その他	786	813
固定負債合計	27,241	28,530
負債合計	78,644	83,381
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,281	17,281
利益剰余金	57,070	58,204
自己株式	△11,277	△11,278
株主資本合計	81,687	82,820
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,043	14,646
繰延ヘッジ損益	14	△7
為替換算調整勘定	656	692
退職給付に係る調整累計額	1,037	1,044
その他の包括利益累計額合計	14,751	16,375
非支配株主持分	754	785
純資産合計	97,193	99,981
負債純資産合計	175,837	183,363

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	50,288	52,430
売上原価	23,904	24,357
売上総利益	26,384	28,072
販売費及び一般管理費	21,314	21,895
営業利益	5,070	6,177
営業外収益		
受取利息	4	0
受取配当金	330	366
その他	68	44
営業外収益合計	403	411
営業外費用		
支払利息	13	16
持分法による投資損失	5	14
その他	31	47
営業外費用合計	50	78
経常利益	5,423	6,510
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産除売却損	74	109
減損損失	1,540	—
特別損失合計	1,615	109
税金等調整前四半期純利益	3,808	6,403
法人税、住民税及び事業税	1,123	1,578
法人税等調整額	545	334
法人税等合計	1,669	1,912
四半期純利益	2,138	4,490
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△779	35
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,918	4,455

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	2,138	4,490
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△819	1,594
繰延ヘッジ損益	29	△22
為替換算調整勘定	△444	30
退職給付に係る調整額	△11	6
持分法適用会社に対する持分相当額	3	10
その他の包括利益合計	△1,243	1,620
四半期包括利益	895	6,111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,838	6,079
非支配株主に係る四半期包括利益	△942	31

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結損益計算書関係)

減損損失

当社グループは、以下の資産について減損損失を計上しております。

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

場所	用途	種類及び減損損失(百万円)			
		建物及び 構築物	機械装置及び 運搬具	その他	合計
インドネシア ジャワテンガ州他	製造設備等	771	722	46	1,540

(資産のグルーピングの方法)

当社グループは、事業用資産については、事業の種類別セグメントを基礎に独立したキャッシュ・フローを生み出す最小の単位を識別し、資産のグルーピングを行っております。

(減損損失の認識に至った経緯)

投資に見合う回収が不可能と判断されることから、回収可能価額まで帳簿価額を減額しております。

(回収可能価額の算定方法)

正味売却価額により測定しており、市場価格等により合理的に算定しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	48,230	1,442	489	50,162	126	50,288	—	50,288
セグメント間の内部売上高	123	34	0	158	352	510	△510	—
計	48,354	1,476	490	50,321	478	50,799	△510	50,288
セグメント利益	4,928	95	202	5,226	9	5,236	△166	5,070

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△166百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△171百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	50,422	1,374	496	52,292	137	52,430	—	52,430
セグメント間の内部売上高	197	55	0	253	243	496	△496	—
計	50,619	1,429	496	52,546	380	52,926	△496	52,430
セグメント利益	6,098	76	222	6,397	11	6,408	△231	6,177

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△231百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△205百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より、各セグメントの実態をよりの確に把握することを目的として、各セグメントに対する収益及び費用の配分方法の見直しを行っております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

「食料品製造」セグメントにおいて、減損損失1,540百万円を計上しております。

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

該当事項はありません。

3. 補足情報

① 業績

(単位:百万円)

	2019年3月期 第1四半期		2020年3月期 第1四半期		前期比較		
	金額	売上高比率(%)	金額	売上高比率(%)	金額	売上高比率(%)	増減率(%)
売上高	50,288		52,430		2,142		4.3
売上原価	23,904	47.5	24,357	46.5	453	△ 1.0	1.9
販売費及び一般管理費	21,314	42.4	21,895	41.8	581	△ 0.6	2.7
販売促進費	8,740	17.4	9,608	18.3	868	0.9	9.9
広告宣伝費	2,423	4.8	2,001	3.8	▲ 422	△ 1.0	△ 17.4
運賃保管料	3,416	6.8	3,686	7.0	270	0.2	7.9
給料手当	2,095	4.2	2,109	4.0	14	△ 0.2	0.6
賞与引当金繰入額	756	1.5	774	1.5	18	△ 0.0	2.4
その他	3,882	7.7	3,714	7.1	▲ 168	△ 0.6	△ 4.3
営業利益	5,070	10.1	6,177	11.8	1,107	1.7	21.8
営業外収益	403	0.8	411	0.8	8	△ 0.0	1.9
営業外費用	50	0.1	78	0.1	28	0.0	54.9
経常利益	5,423	10.8	6,510	12.4	1,087	1.6	20.0
特別利益	0	0.0	2	0.0	2	0.0	888.7
特別損失	1,615	3.2	109	0.2	▲ 1,506	△ 3.0	△ 93.2
税金等調整前四半期純利益	3,808	7.6	6,403	12.2	2,595	4.6	68.2
法人税等	1,669	3.3	1,912	3.6	243	0.3	14.6
四半期純利益	2,138	4.3	4,490	8.6	2,352	4.3	110.0
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(▲)	▲ 779	△ 1.5	35	0.1	814	1.6	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,918	5.8	4,455	8.5	1,537	2.7	52.7

(注) 販売費及び一般管理費の内訳として表示していた「運賃」は、明瞭性を高めるため、「販売促進費」と「その他」に含まれていた「倉敷保管料」と合算し、「運賃保管料」として表示する方法に変更しております。

この変更を反映させるため、2019年3月期 第1四半期の「販売促進費」9,815百万円は、「販売促進費」8,740百万円、「運賃保管料」1,075百万円として組み替え、また、「その他」3,900百万円は、「その他」3,882百万円、「運賃保管料」18百万円として組み替えております。

② セグメント情報

(単位:百万円)

事業	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	前期比較	前期比(%)
食料品製造				
売上高	48,230	50,422	2,192	104.5
(売上高構成比)	(95.9%)	(96.2%)		
セグメント利益	4,928	6,098	1,170	123.7
食料卸売				
売上高	1,442	1,374	▲ 68	95.3
(売上高構成比)	(2.9%)	(2.6%)		
セグメント利益	95	76	▲ 19	80.3
不動産及びサービス				
売上高	489	496	7	101.3
(売上高構成比)	(1.0%)	(0.9%)		
セグメント利益	202	222	20	109.8
その他				
売上高	126	137	11	109.0
(売上高構成比)	(0.2%)	(0.3%)		
セグメント利益	9	11	2	112.9

(注) 1. 2020年3月期 第1四半期連結累計期間より、各セグメントの実態をよりの確に把握することを目的として、各セグメントに対する収益及び費用の配分方法の見直しを行っております。

なお、2019年3月期 第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

2. 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

③ 食料品製造事業 売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	前期比較	前期比 (%)
連結売上高	50,288	52,430	2,142	104.3
営業利益	5,070	6,177	1,107	121.8
食料品製造 売上高	48,230	50,422	2,192	104.5
営業利益	4,928	6,098	1,170	123.7
菓子食品 売上高	27,508	28,325	817	103.0
営業利益	1,354	2,189	835	161.7
冷菓 売上高	10,550	11,276	726	106.9
営業利益	1,452	1,741	289	119.9
健康 売上高	10,171	10,819	648	106.4
営業利益	2,120	2,166	46	102.1

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

国内売上高	45,152	47,942	2,790	106.2
海外売上高	3,077	2,479	▲ 598	80.6

海外売上高比率(対連結売上高)	6.1%	4.7%
-----------------	------	------